流通ＢＭＳ 普及拡大目指す

製・配・販連携協議会が総会

日本を代表する消費財メーカー、卸、小売各社で構成する「製・配・販連携協議会」は5月25日、都内で総会およびフォーラムを開催した。これまで製配販が協働で取り組んできた返品削減、配送効率化等の実験成果の報告が行われると共に、取引情報交換の業界共通インフラとしての「流通ＢＭＳ」拡大に向けて、一層の連携を図っていくことを確認した。

同協議会は昨年5月、取引上の問題点を解決し、消費財流通の効率化・高度化を推進することを目的に、業界を代表する製造業、卸売業、小売業43社が経済産業省の支援を受け、設立された。現在、小売業のうちドラッグ業界からは、マツモトキヨシホールディングス、ココカラファイン、スギホールディングス、ＣＦＳコーポレーションが加わっている。

製配販連携の取り組みが報告されたフォーラム

発足時から重点事項に掲げているのが「流通ＢＭＳの推進」。流通ＢＭＳは「流通ビジネスメッセージ標準」の略称で、消費財流通業界の取引情報交換の共通インフラとなることを目指した標準ＥＤＩ（企業間取引情報の電子的交換）のこと。流通ＢＭＩが製配販全体で普及することで、物流業務や経営効率化等への大きな効果が期待される。

昨年12月には、製配販の50社が流通ＢＭＳ拡大・導入計画を公表していたが、今回協議会の働きかけにより、新たに小売業16社（ＧＭＳおよび食品スーパー）が賛同し、流通ＢＭＳの拡大と導入に関する計画公表を行った。

湧永製薬
「艶美華」シリーズから美容補助食品が登場

湧永製薬は、美容補助食品「艶美華（つやびか）タブレット」を新発売した。「艶美華」シリーズとしては、ドリンク剤に続く第2弾で、低分子コラーゲンなど8種類の美容サポート成分を配合し、健康と美に関心の高い現代女性のキレイをサポートする。

「艶美華タブレット」には、コラーゲンペプチド、プラセンタエキス末、ヒアルロン酸、桜の花エキス末、セラミド、エラスチン、ビタミンB_2、ビタミンB_6――の8種類の美容サポート成分を配合している。

美容補助食品「艶美華タブレット」

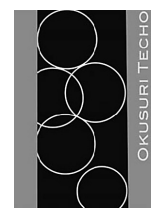
弾力と潤いを保つ成分コラーゲンペプチドは1000mg、ヒアルロン酸は50mg、プラセンタは2000mg（それぞれ1日当たり）と、高用量で配合した。また、乾燥やほこりなどから肌を守って潤いを保つセラミドや、美しさをサポートする桜の花エキス末などが体の内側からの美もサポートする。

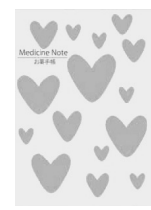
さらに、継続して利用してもらうため、コラーゲン、プラセンタ独特のにおいを低減するなど、飲みやすさにもこだわった。税込み希望小売価格は、126粒×2個入り1万1550円。

シンリョウ
新デザインの医療グッズ 第1弾「お薬手帳」を発売

医療ビジネス総合サービス商社のシンリョウ（東京豊島区）は、医療サポート製品のオリジナル新ブランド「campana（カンパーナ）」を立ち上げた。第1弾は「お薬手帳」で、このほど発売を開始した。

「campana」は、イタリア語で鐘の意味。新ブランドのデザイナーには藪野美生氏を迎え、デザインの鐘を鳴らす〝シンリョウデザインイノベーションプロジェクト〟として、病気やケガを患っている患者の心をデザインの力で元気づけ、勇気づけていくのが狙い。





プロジェクトのスタートとなるお薬手帳は、大切な赤ちゃんとお母さんとの絆を柔らかく表現した「Love! My Baby（ラブマイベビー）」、レースの繊細な編み目と鮮やかなブルーの色味で、メディカルシーンでは少なかった〝可愛さ〟を生み出すデザインの「Lovely in Lace（ラブリーインレース）」など、5種類のデザインが揃っている。

同社では今回のお薬手帳に続き、患者向け院内掲示ポスター、お薬手帳カバー、投薬用プラスチック容器など、「今後も医療用アイテムを続々と発表していく予定」としている。

ＯＴＣ医薬品のパッケージ部門
ベンザブロックが受賞
ＵＣＤＡ「第3回アワード」を発表

帳票やパンフレット、ウェブページなどをデザインの視点で評価・表彰する「ＵＣＤＡアワード」を主催するユニバーサルコミュニケーションデザイン協会（ＵＣＤＡ、福田泰弘理事長）は5月31日、「ＵＣＤＡアワード2012」（トッパン・フォームズが特別協賛）の選考結果を発表した。このうち、今回から新設された「ＯＴＣ医薬品パッケージ部門」には、武田薬品がアワードに輝いた。

ＵＣＤＡは、企業や団体が生活者に提供する情報コミュニケーションの問題点を発見し、「見やすく、わかりやすく、伝わりやすく」改善する活動を行っている一般社団法人。

同協会主催の「ＵＣＤＡアワード」は、印刷物やウェブサイトで企業が生活者に発信する情報の〝わかりやすさ〟を、第三者の客観的な基準で評価し、優れたコミュニケーションのデザインを表彰するもの。評価結果が改善のための指標となり、デザイン技術の発展とコミュニケーション品質の向上によって、企業と生活者双方の利益に貢献することを目指している。

第3回となる今回のテーマは、「生活者を守るデザイン」で、生損保をはじめ投資信託、ＯＴＣ医薬品に対象を拡大し、今年1月から募集を開始した。3月初旬からアナザーボイス（情報コミュニケーションの分野において、生活者の声の中から建設的で批評意欲に溢れたもう一つの意見を導き出して世の中に発信する組織。ＵＣＤＡが運営）による評価を皮切りに、「ＵＣＤＡアワード2012」が始まった。

今回も前回と同様、評価対象のプロフィールを記載したエントリーシートの提出を各社に依頼、任意で評価員に対するプレゼンテーションの場を設けた結果、評価員説明会には13社が参加。3月28日から始まった評価では、グラフィックデザイナーや人間中心設計専門家など56人の評価員が〝情報のわかりやすさ〟と〝情報の充実度〟について評価を実施。このデータを統合会議で評価員リーダーが統合し、5月18日の評議会で、統合会議の評価とアナザーボイスの評価を参考に、有識者、ＵＣＤＡ理事、評価員リーダーなど19人が評議し、アワードと各賞を選出した。

「第三者」による客観的な評価
UCDA AWARD 2012

ＯＴＣ医薬品パッケージ部門の受賞会社および商品名は次の通り。

▽ＵＣＤＡアワード2012：武田薬品「ベンザブロック」

▽情報のわかりやすさ賞：大正製薬「パブロン エースＡＸ」、全薬工業「新ジキニン」

▽情報の充実度賞：第一三共ヘルスケア「ルルアタックＥＸ」

▽特別賞：カイゲン「改源」（アナザーボイス）、興和「コルゲンコーワＩＢ錠ＴＸ」、塩野義製薬「パイロン溶かしてのむかぜ薬」、テイカ製薬「カゼアウト」、ライオン「バファリンかぜＥＸ」

評価・選考は２カ月に及んだ

ＵＣＤＡ副理事長で事務局長の八杉淳一氏は、ＯＴＣ医薬品パッケージ部門について「今回の評価対象では唯一、商品そのものであり、評価にはユーザーの選好度の影響を受ける難しさがあった。限られたスペースの中で、効能・適応症状が直感的に分かりやすいパッケージの評価が高かった」と分析。「商品の特性が〝効きそう〟〝穏やかそう〟とタイプが異なっていたにもかかわらず、自分の求める効き方であるかどうかが素早く判断できる表示が求められている。また、用法・用量ではなく、成人が何日で消費する内容量かを、分かりやすく提示してほしいという生活者の声が聞かれた」とコメントした。

なお、選考結果報告会は7月5日午後2時から、東京霞が関の霞山会館で行われる。

薬事法・薬剤師法 毒物及び劇物取締法 解説 第22版

◇　薬事関連３法を条文ごとに、要旨、解説、関連政令・省令をセットにして掲載し、わかりやすく、体系的・実践的に編集（条文は 2012 年 1 月 24 日改正現在）。
◇　薬事法の入門書、新人研修用としてもお薦めします。親切な索引付き。
◇　テキストとしても最適。薬科大学の薬事関連法規の教科書、各種セミナー・講習会などの薬事関連法規のテキストとして使いやすく、親切に編集。薬事法初心者の方にもお薦めです。薬剤師国家試験対策にも対応。

著　者　青柳健太郎、　翁　健、　鰍澤照夫、　木村豊彦、　山川洋平

A5 判　総 1046 頁　定価 3,990 円(税込)

薬事日報社　http://www.yakuji.co.jp/　書籍注文専用 FAX　03-3866-8408